

8 月 2, 3, 4 日と全国から保育が集まる研修（群馬県）に参加してきました。
様々なテーマに分かれて、講座や話し合いが行われました。私は、「ひとりひとりを大事にする保育と職員
集団」「障がいのある子どもの発達と保育」「いのちを守り、豊かな発達を保障するために、今、大切にしたい
事」などに参加し、他の園の事例も沢山聞いてきました。

そこで私が考えたことは、「ひとを大事にすること、思いやることこそが保育だ！」という事でした。
時代が変わっても、環境が変わっても、制度が変わっても、目の前の子どもと人が安心して育ち、育てられ
るにはどうするかを常に考え動くことをしていきたいと思いました。

私たちは生きています。変化しています。成長しています。だから昨日とは違う今日。明日を信じて生活を
しています。変化と成長のエビデンスを研修で学んでいます。

職員はひとり年に 2, 3 講座を受け、新しい保育や実践を深めるために勉強してます。
すべては目の前の人たちのため、自分自身のため。。。。

～ 8 月・9 月の予定～

8 月 7/31～15 日 保育実習（玉川大学 1） 6 日 避難訓練 19 日 1F 身体測定 20 日 2F 身体測定
25 日 ハーモニカ交流 29 日 防災教室 18～30 日 保育実習（玉川大学 2）
9 月 10 日 交通安全教室 24 日 1F 身体測定 25 日 2F 身体測定

保健だより



☆肌トラブルにご注意！！

虫刺され以外にも『あせも』や『とびひ』など 夏に起きやすい肌のトラブルがあります。
ケアとしてシャワーをこまめに浴びる。お風呂に入るなど皮膚を清潔に保つことが一番です。よく
洗って、よくタオルドライしましょう。
ゴシゴシと拭くのではなく、押さえるようにして水分をとりましょう しっかりと水分を拭き取らな
いと肌荒れの原因となります。
グジュグジュとしたり切れたり、そこからとびひになったりします。清潔にしたら塗り薬を塗って
幹部に触らないようにしましょう。触れてしまうようであれば大きなガーゼ絆創膏で覆いましょう。

☆トラブルを防ぐには

- 皮膚を傷つけないようにつめを短く切る
- かゆみをやわらげるように蚊に刺された箇所を流水で洗い流す・冷やす、かゆみ止めを塗る
- 治りが遅い、広がった、湿しなが 変化したときは、小児科や皮膚科を受診する
- 手で幹部を触ってしまったときは手を洗います。そのままの手指で別の部位をさわると感染が広がります
- 拭く場所によってタオルは分けましょう タオルでも感染します

☆保育園ではプール遊びをおこなっています

掻きこわしやとびひの症状がある方は入水できません。患部を覆った上で、別のエリア（タライ
など）で個別に水遊びをおこなうことはできますが、1 日でも早く肌トラブルを改善してみんなと
プール遊びが楽しめるようにしましょう！ 広がったり、悪化する前に早めの対処が大事です。